



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.141

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2019.12

石井病院 NST活動の実際

NSTとは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士で構成された医療チームのことです。栄養状態が悪いと、どれだけ治療を行ってもなかなか回復しません。

NSTでは毎週金曜日14時からNST回診を実施しています。主に身体計測や体組成の測定(In Body)、栄養状態の評価・栄養投与ルートを検討・必要栄養量の評価などを行っています。今年5月よりNST回診に対象となった33名の患者様の中で、身体的栄養評価40%.血液学的栄養評価40%.食事摂取量100%.摂食・嚥下状態40%.褥創(床擦れ)70%.感染・免疫力30%の方に改善がみられました。

また、NST委員会では毎月栄養療法に関する勉強会を実施し、NSTメンバーの知識向上を図っております。



前列 石井院長 黒川医師 小原医師
後列 NST委員会メンバー

● 院内NST勉強会を開催しました！

11月29日に黒川医師と松田理学療法士を講師として、リハビリテーション栄養(リハ栄養)について勉強会を実施しました。

リハ栄養とは、「障害を持った方や高齢者に対してリハビリの内容を考慮した上で栄養管理を行うことと、栄養状態を考慮した上でリハビリを行うこと」です。リハ栄養の中で特に注目されていることは低栄養とサルコペニア(骨格筋減少症)です。筋肉は蛋白質の貯蔵庫であり、低栄養では筋肉の蛋白質が減少し筋肉量が減少することでサルコペニアとなります。サルコペニアは高齢者では10%前後が、85歳以上に限定すると約50%がサルコペニアになっていると言われております。適切な運動を行い筋肉を衰えさせないことがサルコペニアの予防・改善には必要になります。また運動だけでなく適切な栄養も必要とされています。

当院では、サルコペニアの予防や改善の為に蛋白質を強化した栄養剤(リハたいむゼリー)を導入しました。運動直後に食べることで、筋力強化と筋肉の疲労を軽減する期待があります。適切な運動と食事を行うことでサルコペニアを予防・改善することが重要であり、高齢者の身体機能の改善や社会活動の向上に繋がります。

院内勉強会を通じてリハ栄養に関する職員の知識を深め、情報を共有し質の高い医療が提供できるように取り組みました。



理学療法士

まつだ だいすけ
松田 大輔管理栄養士
副主任たけもと あんり
竹本 安里

(NST回診時の身体計測)



(回診後のミーティング)



(勉強会の様子)



じんけいクリニック ～ One team ～

つい先日までアジア初、ここ日本で行われていたラグビーワールドカップですが、その世界最高峰のプレイを観戦され、初めてラグビーというスポーツを身近に感じた方も多いかもしれません。

小生、山形大学医学部学生時代は寝食を忘れてラグビーに没頭していた時期もありますが（得たものも多いのですが、今では大問題となる脳振盪で試合の内容を覚えていないことが2回、未だに頸や腰が痛く辛いことも多々あります）、ひとりひとりが身を粉にして身体をはり、たった一つのラグビーボールを愚直に奪い合うゲーム、如何だったでしょうか。

小生的には元ジャパン代表ラグビー監督、元神戸製鋼ラグビー部ジェネラルマネージャー、故平尾誠二さんが言い続けた『自由であれ』という魂が結実し、今回ジャパンラグビーでオフロードパスとして花開いた大会であったように思われました。何千回、何万回も繰り返し練習してきたであろうオフロードパスは、スコットランド戦でのあのトライシーンは、この数年来のスポーツシーンの中で秀逸であったように思われます。

小生が生きている間に日本で開催されるラグビーワールドカップはもう二度とないと思いますが、

『one for all ,all for one』

『ひとりとは15人のために、15人はひとりのために』

離れていても15人全員の見えない手が、心が、しっかりと繋がっている、まさしくone teamの姿、それがこの世界では最強への道なのだと、ジャパンラグビーは見せてくれました。

血液透析医療は、決してテレビドラマの題材になったりはしません。地味で派手さの全くないまさに愚直そのものの、ディフェンスディフェンスディフェンスの連続したラグビーとよく似た医療行為ですが、全ては病める患者さんの為に、じんけいクリニックにおいても見えはしないものの、ヘルパーさん、運転手さんから事務方、臨床工学技師、看護師、医師に至るまでの全てのスタッフがしっかりと繋がれたone teamである姿は、ジャパンラグビーと共通したもののように思われました。

今年も残すところあと1か月となりましたが、世界中で最も優れた血液透析治療がどこかにあるとするならば（誰かが誰かを評価することは不可能ですが）、そこに一歩でも二歩でも近づきたいとの思いで、『♪どんなに遠くても辿りついてみせる、石のような孤独を道連れに 空とこの路、出会う場所へ♪（浜田省吾「家路より）』今月も歌い続け、努力し続けたいと思います。

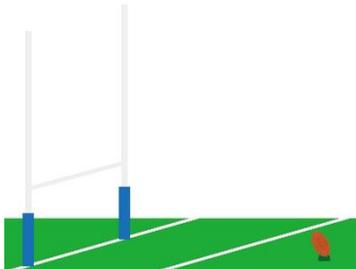
そしていつの日か、この地球上に存在する国家間、民族間、個人間の全ての紛争にノーサイドの笛が吹かれ、生きとし生けるもの全てが one team となれる日が訪れることを祈り続けたいと思います。



じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦



■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>